

叡智と情熱が結ぶ、 21世紀の新たな文化発祥都市

一人ひとりのための温かみと豊かさのある生活空間

第一次佐久市総合計画

【概要版】



佐久市

叡智と情熱が結ぶ、 21世紀の新たな文化発祥都市を目指して



市町村合併による新市建設を都市基盤強化の大きなチャンスとして捉え、平成17年4月1日、長野県では5番目となる人口10万都市・新「佐久市」が誕生しました。

グローバル化の進展、地球規模での環境問題、地方分権の推進、そして少子・高齢化の進展に伴う人口減少時代の到来など、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。特に人口の減少は、経済活動の停滞や地域社会の活力低下など大きな影響を及ぼします。人口増加対策は、本市に限らず、全国共通の、また国を挙げて取り組まなければならない大きな課題であります。

佐久市は、上信越自動車道、北陸新幹線、そして中部横断自動車道と、首都圏・日本海圏・太平洋圏を結ぶ交通の要衝にあり、地域連携軸の結節都市となります。この結節点としての優位性を生かし、首都圏はもとより、太平洋から日本海までを結ぶ1000万交流圏の確立を目指していくことが大切であり、これらの動向が、本市が持つ都市の総合力をさらに高め、人が集まり、人口が増加する大きな社会的要因のひとつになっていくと考えております。

本計画は、新市建設計画の基本方針を踏まえ、市民一人ひとりの積極的な市政参加を得ながら、21世紀初頭における中長期的な視野に立った佐久市のまちづくりのための基本的な施策を示すものであり、本市の最上位計画として行政運営の基本方針となるものであります。

今後、本計画を指針として、持続発展できる力強いまちづくりに市民の皆様と共に取り組み、「新たな文化発祥の大地」を目指してまいりたいと考えております。

おわりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました佐久市総合計画審議会委員の皆様を始め、市民の皆様にご心より感謝とお礼を申し上げますとともに、計画推進に格段のご高配を賜りますようお願いいたします。

平成19年3月

佐久市長 三浦大助

策定の目的

平成17年4月1日、佐久市・臼田町・浅科村・望月町の1市2町1村が合併し、10万都市・新「佐久市」が誕生しました。合併にあたり、4市町村の一体性を速やかに確保し、地域の均衡ある発展と市民福祉の向上を図ることを目的として、新市の将来像を「叡智と情熱が結ぶ、21世紀の新たな文化発祥都市」とする「新市建設計画」を策定しました。

人口減少時代の到来、少子・高齢化の進展、地方分権の推進、さらに国・地方の厳しい財政状況を受けた構造改革の推進、また地球規模での環境問題など、わが国の社会経済情勢は大きな転換期を迎えています。

このような中、本市においても、諸課題に的確に対処しつつ広い視点に立ち、力強いまちづくりを積極的に進めるとともに、健全財政に配慮した計画的・効率的な行政運営が求められています。

10万都市・新「佐久市」の誕生は、さらなる発展を目指した新たなまちづくりのスタートです。本計画は、新市建設計画の基本方針を踏まえ、市民が「合併して良かった」と実感できる新しいふるさとづくりを進めていくことを目的として、ここに策定するものです。

計画の構成

この計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成され、内容と期間は次のとおりです。

基本構想 【計画期間10年間（平成19年度～平成28年度）】

時代の潮流や本市の特性を踏まえ、将来に向けてのまちづくりの基本理念と目指すべき将来都市像を明確にし、それを実現するための施策の大綱を定めた長期的なまちづくりの指針とするものです。

基本計画 【計画期間10年間（平成19年度～平成28年度）】但し、5年後に見直しを行う。

基本構想の施策の大綱に基づき、その基本理念と将来都市像を計画的に実現するために、実施すべき具体的な施策の方向を示した中期的な計画です。

実施計画 【計画期間3年間（毎年度見直し）】

基本計画で示された施策に基づき、具体的に実施する事業概要等を示したもので、毎年度における予算編成や事業実施の指針となる短期的な計画です。

基本理念

ひとの絆・まちの絆で築く文化発祥の大地

私たちは、鳴動する大山 浅間山、静謐なる名山 蓼科山、ほとばしる大河 千曲川の精気を受け、また、佐久平の高燥冷涼な気候、肥沃な大地により、多様な自然と豊かな実り、安らぎ、癒しを万年にわたり享受し、営々として歴史を築いてきました。この地に脈打つ、旧中込学校にみる進取の精神や気風、五稜郭にみる新時代をひらく叡智、農村医療にみる命を守る使命感やたゆまぬ努力、五郎兵衛新田にみる開拓の精神、現代書道の父 天来にみる独創と先駆けの精神を誇りとし、この志を受け継ぎ、新たな文化の礎として発展させ、未来を担う子どもたちに伝えていかなければなりません。

本市では、これらの個性を尊重しながら共生・融合を図り、市民の一体感を醸成します。そして、安心して豊かに暮らせる新たなふるさと創造を進めるため、美しい自然環境に配慮した幹線道路・交通機関・情報のネットワークを構築します。さらに、この地域間ネットワークを佐久都市圏はもとより全国や世界ネットワークへと繋げることで、たくましさや優しさを併せ持つ「多機能都市」として、真の地方の時代に立ち向かう魅力ある力強いまちづくりへと歩み始めます。

本市は、「ひとの絆・まちの絆」を基本として、21世紀を担う人材育成や100万経済圏づくりを行い、人や物流、さらに情報の要衝となるべき「21世紀の新たな文化発祥の大地」を目指します。

1 佐久市が目指す将来都市像

佐久の地に悠久の歴史を共有してきた私たちは、先人の培ってきた叡智とほとばしる情熱を受け継ぎながら、激変期の社会に凜として臨むことが大切です。

本市は、この大きなうねりを乗り越え、真の地方の時代に立ち向かうたくましさや優しさを併せ持つために、様々な人々や地域、産業を通じた夢と希望に満ちた新時代を切りひらくまちづくりを目指します。

このため、本市の将来都市像を

叡智と情熱が結ぶ、

21世紀の新たな文化発祥都市

とし、

一人ひとりのための温かみと豊かさのある生活空間

を副題とします。

2 将来都市像の実現に向けて

将来都市像を達成するための都市づくりの視点を次の4項目とし、併せて土地利用の基本方針を示します。

(1) 10万都市、100万経済圏、1000万交流圏の拠点

本市は単なる地域の結合でなく、拠点性を持つ10万都市とし、本市が持つ地理・交通の優位性を生かし、さらに高度情報通信網の整備により、人・モノ・情報の結節点として100万経済圏の産業拠点を目指します。そして、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進し、未来に繋げる躍動感あふれるまちづくりを進めます。



(2) 水と太陽と緑がおりなす詩情あふれるまち

浅間山を始めとする山々、千曲川や田園に代表される「佐久の原風景」を保全・継承するため、計画的な景観形成や緑化推進等によって地域の開発との調和を図ります。

また、自然との共生を図り、限りある資源を有効に活用する資源循環型社会を形成することにより、環境にやさしいまちづくりを進めます。

(3) 温かみと豊かさのある生活空間

ノーマライゼーション^{*}の理念に基づき、性別・年齢・障害の有無を問わず、すべての人がお互いを尊重しながら地域コミュニティの醸成に努め、その中で一人ひとりが家庭や地域において自身の役割を見出すことにより、生きがい・やりがい・助け合いのある、健やかに笑顔あふれる地域社会づくりを進めます。

*ノーマライゼーション：高齢者や障害者など、すべての人が分け隔てなく暮らせる社会が正常（ノーマル）だとする考え方。

(4) 伝統と創造の文化のまち

佐久の風土に培われてきた伝統・文化を継承するとともに、地域コミュニティから国際交流まで様々な連携・交流を図り、新たな文化の創造を目指します。

また、高等教育機関や学習施設の整備、ネットワーク化など教育環境の充実を図り、次代を担い、郷土を担う人材の育成を進めます。

(5) 土地利用

市域の土地は、市民にとって現在及び将来における限られた貴重な資源であるとともに、生活や生産といった活動を支える共通の基盤であり、より良い状態で次世代に引き継いでいかなければなりません。

このため、本市の恵まれた自然環境の保全と継承に努め、人と自然との新たな共生・共存関係の構築に向けた土地利用を図っていく必要があります。

本市の均衡ある持続的発展と一体性の確保を基本として、各地域の自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件を踏まえ、公共の福祉を優先させ、安全で快適な生活環境の確保と地域の特性を生かした土地利用を図ります。

3 都市づくりの将来指標

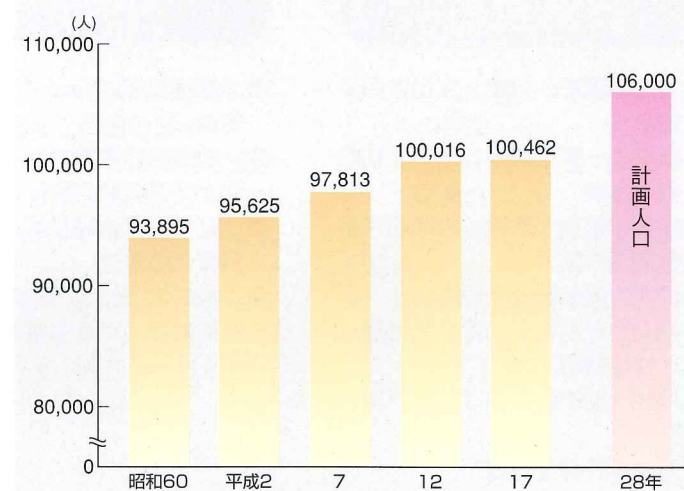
計画人口：106,000人

本市の人口は、平成17年10月1日現在（平成17年国勢調査）で100,462人と平成12年の100,016人に比べ446人（0.4%）増であり、増加傾向で推移しています。

また、全国的に少子化が進行する中、本市は合計特殊出生率が全国値を上回るとともに、健康長寿都市としても知られています。

将来人口の推計にあたっては、少子・高齢化の動向や、わが国の人口減少社会の到来といった社会潮流を踏まえるとともに、道路や鉄道、土地利用など近年の基盤整備充実による都市力の向上、市町村合併の効果、さらに本計画によるまちづくり施策の力強い推進などを考慮し、平成28年度の計画人口を106,000人と設定します。

■ 人口の推移（国勢調査）



（資料：企画課）

叡智と情熱が結ぶ、21世紀の新たな文化発祥都市

一人ひとりのための温かみと豊かさのある生活空間

たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

グローバル化の進展に伴う地域間競争の激化、ライフスタイルや価値観の多様化など、激しい変革が続く社会において、国際感覚や人権感覚を身に付け、主体的な判断のもと、自ら行動できるたくましい人材を育成します。

また、互いに個性を認め合い、学び合う生きがいある社会形成のため、共に生きる豊かな心を持ち、生涯を通じて学習できる環境整備を推進します。

地域固有の歴史や伝統・文化については、市民が日常的にふれあい、学ぶことができる環境整備を進め、地域文化の保存・継承に努めるとともに、各種ネットワークを活用した交流を進め、他の文化との共生・融合による「新たな文化の発祥地」を目指します。

施策項目

- 地域の歴史、伝統・文化の保存と継承
- 市民ニーズに対応した文化施設の整備推進
- 世代・職業・地域の枠を超えた文化交流の拡大
- 男女共同参画社会の形成
- 偏見や差別のない社会を目指した人権意識の高揚
- 個性と創造性を伸ばす教育環境の整備
- 青少年の健全育成
- 創造性・国際性豊かな人材育成
- 生涯学習・生涯スポーツ活動の充実

ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

地域間に幹線道路・交通機関のネットワークを築くことにより地域間交流を進めるとともに、地理的利点を最大限に活用した高速交通網の整備を促進します。さらに、地域間ネットワークと多面的に連携させた首都圏・日本海圏・太平洋圏との都市間連携・都市間交流を拡大させ、1000万交流圏の拠点づくりを推進します。

また、高度情報通信社会に対応した双方向情報通信ネットワークの整備を進めます。

そして、職・住・学・遊の均衡ある発展を図りつつ、これらネットワークを最大限に活用し、地域に培われた風土や街並みを大切にするとともに、地域の個性や特色を生かした土地利用を推進し、多機能都市を目指します。

施策項目

- 高速交通ネットワークの整備促進
- 地域幹線道路ネットワークの強化と交通機関の利便性の向上
- 高度情報通信基盤の整備と地域情報化の推進
- 地域の個性・特色を生かした多機能都市づくりの推進

100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

恵まれた自然環境と高速交通網の結節点としての優位性を生かしながら、安心して安全な農産物の総合供給基地を確立し、地域農業の振興を図ります。

また、企業誘致や産学官の連携を進め、技術開発や技術力の強化を図るとともに、地域間や異業種間との交流を促進し、新たな産業を創出します。

そして、魅力ある観光地域の形成を推進するとともに、商店街の活性化や就業機会の拡充による人材確保、高度情報通信基盤の整備を促進しつつ、産業基盤の強化を図り、100万経済圏の構築を目指します。

施策項目

- 効率的かつ安定的な農業経営の推進
- 農産物総合供給基地の確立
- 商店街活性化の推進
- ネットワークの構築による魅力ある観光地づくりの推進
- 企業誘致と技術力の強化・人材育成による産業基盤の強化
- 企業と連携した就業機会の拡充

みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

「みんなが支え合う社会」という意識改革を図り、人と人との交流・相互扶助による、優しさとふれあいのある地域コミュニティの醸成に努めます。

そして、市民やボランティア、NPO、事業者といった民間と行政の協働により、子育てから障害者・高齢者支援まできめ細かな施策を展開し、すべての市民が生きがいと幸せを感じながら生活を送ることができる、住みよい健康長寿のまちの形成を目指します。

施策項目

- 共に生きる喜びを分かち合える福祉社会の構築
- 保健・医療・福祉・介護の連携によるきめ細かなサービスの提供
- 市民健康づくりの推進
- 安心して子どもを生み育てることができる子育て支援の充実
- 地域で安心して暮らすことができる障害者支援の充実
- 活力ある健康長寿社会の構築
- 医療施設の充実と地域医療提供システムの構築

水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

二酸化炭素の排出量増加に伴う地球温暖化等、環境悪化による被害や影響は、地球規模で考えていかなければならない問題であり、最も身近な問題としても認識しなければなりません。

本市は、豊かな水と緑を有しています。これらを守り未来へ継承するため、環境保全という視点に立ち、環境への負荷の少ない資源循環型社会の形成を目指します。

施策項目

- 水と緑きらめく自然環境の保全
- 緑化の推進と景観の保全
- 豊かで清らかな水辺環境の整備
- 資源のリサイクルとごみの減量化の推進及び廃棄物処理体制の整備
- 水の安定供給と全戸水洗化の推進
- 省エネルギー対策の推進と新エネルギーの利用促進

市民生活の安全確保と市民満足度の向上

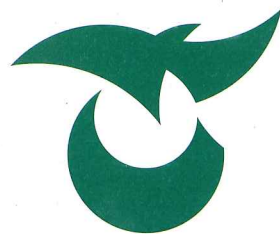
日常生活に安全性や安心感を求める傾向が強まる中、子どもから高齢者まで市民誰もが安心して生活できる地域社会の構築を目指します。

また、市民の価値観やライフスタイルの変化から、市民ニーズは多様化・複雑化しており、市民のまちづくりへの参加意識が高まっています。

市民と行政が協働して魅力あるまちづくりを進めるとともに、不断の行財政改革を推進し、市民サービスの一層の向上を図ります。

施策項目

- 安心して暮らせる安全なまちづくりの推進
- 市民と行政の協働によるまちづくりの推進
- 行政改革の推進と健全財政の堅持
- 適切かつ効果的な広域行政の推進



佐久市

- * 佐久市役所の位置
 - 東経 138° 28' 37"
 - 北緯 36° 14' 56"
 - 標高 692 m
- * 市 域
 - 東西 32.1km
 - 南北 23.1km
- * 面 積 423.99km²



旧中込学校



龍岡城五稜郭



五郎兵衛新田



比田井天来